



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



本日の例会：2021 年 9 月 24 日 通算 1609 回 本年度 第 10 回

卓話：「過剰流動性相場の行方」 日興リサーチセンター 代表取締役社長 末永 雅春 氏

- 第 1608 回 例会報告 / 2021 年 9 月 17 日
- 出席報告：会員 51 名 出席 30 名 (内 ZOOM 6 名)
- ゲスト：小林弘裕 (卓話)
- ビジター：クライ・エルヴェ 計 2 名 (敬称略)

卓話：「中東の思い出、イラン、etc」

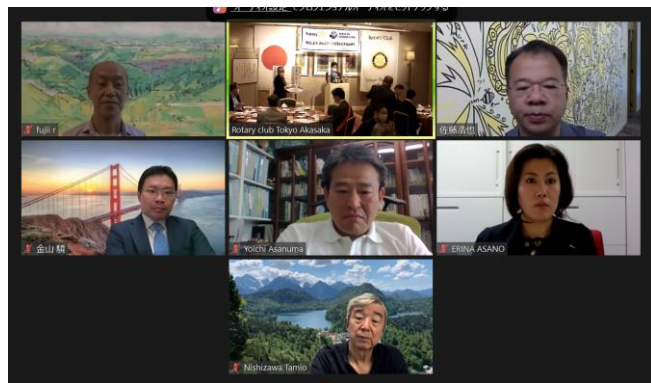
前ニュージーランド大使 小林 弘裕 氏



卓話者：穂苅副会長

会長報告：

米山奨学会より、米山奨学生イミンへ 10 月からの奨学生合格証と、9 月までの終了証が、カウンセラーの吉田会員へカウンセラー委託状と感謝状が届いております。



9 月 17 日 19 件 38,000 円 累計 283,000 円
多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

河邊幸夫/穂苅裕久/熊本誠司/入沢頼二/岩上義明/コンシニ/土屋東一/小林博茂/吉田用親/吉岡琢磨/鈴木貞史/長谷川毅/藤井万博/森本勝好/谷口友保/関陽一/CANELA Christian/小川大介/大城正裕

	日 付	開始時間 終了時間	場 所	事 項	内 容
今 後 の 予 定	10 月 1 日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話： 「米山月間 米山記念奨学会について(仮)」 米山記念奨学会委員長 宮崎 陽一郎 氏
	10 月 8 日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：「JAL 経営破綻から再生、そしてコロナ 禍危機から現場で見たもの」 JAL 客室乗務員統括室長 大村 美保 氏
	10 月 15 日	12:30 13:30	B1F グローリー ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：前田記念会石神井公園じんクリニック 看護師長 池田 志帆子 氏
	10 月 22 日	12:30 13:30	B1F オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：防災コンサルタント 釜石 徹 氏

ロータリークラブでは毎年、国際協議会が開催されます。世界中からガバナーがご夫婦そろって集まるのですが、今年度はコロナ禍のため、ロータリーが始まって以来初めて Zoom によるオンライン開催となりました。

国際協議会に出席して

その代わり日程が少し長くなって、例年は 8 日間程度のところ、今年度は 2 月 1～11 日の 11 日間開催となりました。当然、米国時間での開催なので、本会議が日本時間の午後 11 時からだったり、分科会が午前 3 時から始まったりするのですが、全てに出席しないと修了証を頂けないので、私も眠い目をこすりながらの参加となりました。驚いたのは、夫人用のセミナーが 5 講座ほどあったことです。私の妻もそのセミナーに出席していたので、夫婦別々の部屋にこもってそれぞれ研修を受けるという状態でした。

内容は、ロータリーの成長や奉仕の成功事例、ロータリー財団や効果的なリーダーシップについてなど多岐にわたり、いろいろな方がお話しされました。当地区からは辰野 RI 理事がお話しされましたし、水野パストガバナーは研修リーダーとしてわれわれの 1 週間も前から研修を受けて国際協議会に臨んでおられました。それだけ皆さん方、力を入れて取り組んでいらっしゃるわけです。

分科会には日本からロータリーの方でも何人か参加しておられ、そういう中でロータリーのビジョン声明や戦略的優先事項、あるいは中核的価値観についていろいろディスカッションしながら進められていきました。中でも特筆すべきは、残念ながらお亡くなりになった辰野理事の奥さまが英語でスピーチされたことでした。

RI 会長の言葉

本年度の RI 会長はシェカール・メータさんという方で、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」という RI テーマを掲げられています。所属はインドのカルカット・マハナガル RC です。

そしてロゴマークは、われわれの住むかけがえのない地球を、奉仕という大きな手で支えているデザインとなっています。おかげさまで今年は世界中から好評を頂いていて、皆さま方にもバッジを着けていただいていることと思います。

メータ会長は、ロータリーの原点である「超我の奉仕」という標語に大変感銘を受け、人を思いやって分かち合うことの大切さに触発されて活動を続けてきたとおっしゃっていました。奉仕とは自分よりも他の人のことを先に考えることであり、他者のために何をしているかということを常に問い掛けながらロータリー活動に励んできたそうです。

そしてある日、自分が単なるロータリー会員から真のロータリアンになれたと思える瞬間があったとおっしゃっていました。私はまだその境地には達しておりませんが、そこまで一生懸命活動すればそういう気持ちになれるのかもしれませんが。そういう素晴らしい方が会長に就任されたということです。

そして、奉仕にはロータリアンの DNA があり、他者のために生き、世話をすることで誰かの人生を豊かにすることは自分の人生の最高の生き方であるとも説かれています。アインシュタインの「誰かのために生きてこそ人生には価値がある」という言葉に深く感銘を受けたそうで、「奉仕は結果として自分の人生をも豊かにしていく」と強調しておられました。

RI のテーマ

そして、2021-22 年度のテーマとして掲げておられるのが、まずロータリー奉仕デー(9 月)をクラブあるいはその集合体でぜひ実施してほしいということでした。

会員増強については、現在の 120 万人を来年 6 月末までに 130 万人にしたいとおっしゃっていました。10 万人増やすのは大変なことですが、果敢にチャレンジすることが RI 会長としての務めだとおっしゃっています。130 万人にすることが新たなロータリーの姿を生み出していくものになるともおっしゃっているので、皆さんも一人一人がロータリーのブランドの大使として活動していただきたいと思います。

ポリオ撲滅については、皆さんにも委員会で素晴らしい事業を作っていただいています。東京近郊を走る電車の中吊り広告を 10 月 18～24 日の間、エンドポリオでジャックし、活動を PR する試みです。最終日の 24 日には東京駅丸の内口から有楽町までウォークラリーを行う予定ですので、皆さんもぜひご参加ください。

ポリオは残念ながら今年に入って感染者が 2 人出ており、根絶はまだ達成していません。昨年、アフリカで根絶宣言がされましたが、残念ながらロータリーの功績は全く報道されていないので、今年度はロータリーの活動の PR もしていかなければならないと考えています。

女子のエンパワーメントへの取り組みも進めていきます。世界ではまだまだ女性が虐げられていたり、誘拐されたり、学校に行けずに家事を強制させられたりしている例が数多く報告されています。それらを解決する糸口をロータリーとして見つけていきたいと会長はおっしゃっています。100 周年を迎えた日本のロータリークラブとしては、国内での奉仕活動

とともに世界に目を向けた奉仕活動の両面を展開することが、新たな 100 年に向けてのクラブのあるべき姿なのだろうと思います。1 クラブだけでなく、海外のクラブともジョイントしながら活動を進めていくこともこれからは必要でしょう。

そしてメータ会長は本年度、七つの重点分野に焦点を当てた七つの会議を世界各地で開催する予定です。その第 1 回目が韓国・慶州で行われ、環境問題を取り上げることになっています。私も参加するのですが、残念ながらこちらもオンラインでの開催ですので、皆さんもぜひご参加いただけるとありがたいと思います。

また、RI では昨年度、ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)の会合を開催できませんでしたが、今年は前年度 PHS になられた皆さんの会合をこれから開いていただけるとのことですので、楽しみにしております。こちらも皆さんにご参加いただきたいと思います。

地区の強調事項

地区からお願いしていることは、第 1 に、活動が単年度で完結する時代が終わりを迎えますので、クラブ内に戦略委員会を設置し、戦略計画を練っていただきたいということです。そして、3 年程度のサイクルでクラブの在り方を検討しながら活動計画を組み立てていってほしいと思います。また、奉仕デーの実施も、コロナ禍に配慮しながらぜひお願いしたいと思います。

それから、2024 年 6 月末までに地区の会員数を 5000 人にしようという計画を立てています。コロナ禍で会員増強が難しいという話は各クラブから頂いていますが、目標に果敢に向かっていくことがロータリーのあるべき姿だろうと思います。現在は 4600 名弱ですから、1 年で 170～180 人ずつ増えれば達成可能ですので、お力添えをお願いしたいと思います。

女性会員と若い会員の増強にも努めます。最近は当クラブでも若い会員の方が増えてきました。この機運を切らさずに皆さんの力を合わせて増強をお願いしたいと思います。

また、公共イメージの向上も図っていきます。ロータリーの活動を一般の方々にも認知していただくためには不可欠なことです。各クラブのお力添えをお願いします。そのために、地区でも精いっぱい頑張って世界ポリオデーのイベントなどを実施していきたいと考えています。

それから、ロータリー財団への支援、米山記念奨学会への支援を毎年お願いしておりますが、2750 地区はトップでなければなりません。なぜなら当地区は日本の中でもリーディング地区、常に先頭を走る地区だからです。そうしたことをぜひ認識していただいた上で、素晴らしいロータリー活動を進めていただきたいと思っています。

お願いばかりで恐縮ですが、方向性を示すことが地区の役割ですので、今日述べたような方向性を示させていただきました。皆さま方のますますのお力添えを頂くとともに、お互いに心をつなげて活動できるようなロータリーの在り方を今後も推し進めていきたいと思っていますので、ご協力を切にお願い申し上げます。

